

令和6年10月10日(木)の19時～ 五月が丘・美鈴が丘地域包括支援センターと三和地域包括支援センター、佐伯区地域支えあい課が共催で、多職種連携会議(意思決定支援)を開催しました。  
会場、オンラインで同時に開催し、50名の方がご参加くださいました。

講師に、美鈴が丘にあります中村内科医院の中村 真也医師を講師に、ACP(Advance Care Planning)とは、AD(事前指示書)との違い、ACPで話し合う内容、人生観や価値観を知るために尋ねることとは等について講義を聞き、その後先生の講義を踏まえた意見交換を行いました。

まだACPを行ったことがない専門職や、本人と家族との意見の違い、ACPをいつ行ったらよいか、タイミングが難しい等ACPにおける現状や課題を話し合いました。

先生のお話にありました、「どのように最期を迎えるか」ではなく、「どうやって生きるか?」を理解し、一人ひとりの支援や今回のように民生委員の方等を含めた関係者の皆さまとの勉強会に活かしてまいります。



[広島県地対協作成”私の心づもり”はこちらをご覧ください](#)

[広島県自立支援ネットワーク推進会議作成”これから手帳”はこちらをご覧ください](#)